

Q1 みなさんは何のために働いていますか？

Q2 なぜ安全衛生が大切でしょうか？

・ 仕事を行う目的・メリット

- お金（生活のため、家族のため、自分のため）
- 社会の役に立つため
- 自分自身の成長
- 没頭して人生を楽しむため
- 自分の趣味や休日を楽しむため
- たくさんの人と出会うため など

どの理由にせよ、これらは、**安全と健康**が あって達成できる



一方で、安全面では、

- 仕事の中には多くの**「危険」**が存在しています。
- この危険は、あなたの身近にも存在し、実際に、あなたの身近でも多くの労働災害が発生している現状があります。

一方で、健康面(労働衛生)では、

- 仕事によって、**健康が悪化**することがある。
 - 長時間労働: 睡眠時間の減少→疲労回復できず蓄積、生活リズムの崩れ→脳心臓疾患など
 - 仕事のストレス: 精神不調
- 化学物質など、普段の生活では関わりのないものが仕事をするによって接触することもある。

- 誰一人として、ケガをしたり、健康悪化したり、命を落としたりすることは望んでいません。また、それは、家族、同僚、事業主、会社なども同じ願いです。
- これらは、「**何もしない**」「**運任せ**」という**待ちの姿勢では防げません**。

だからこれ

安全と健康について**積極的に**考え、
必要な**管理・活動を進めていく**ことが大切です！！

「事故の型」



これは
「腰痛」
などです

労働災害の**パターン**を「**事故の型**」と
いいますが、次のように分類されます。

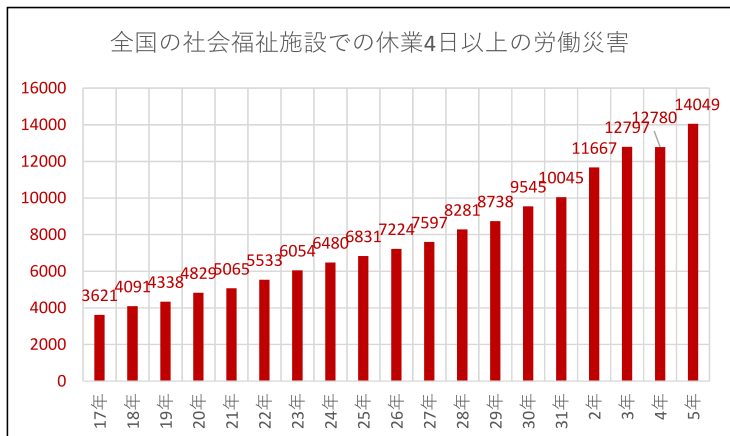
令和4年の全国の全産業での労働災害による負傷者132355人（休業4日以上）を分析すると、一番多いのが「転倒」で26.7%、次いで「動作の反動・無理な動作」が15.8%、「墜落・転落」が15.6%、などとなっています。

ですので、このような情報からいえることは、普段の仕事の中で注意すべきなのは、とくに「転倒」や「動作の反動・無理な動作」（例えば「腰痛」がこれに当てはまります）や「墜落・転落」などということが見えてきます。

なお、業種ごとに出されているグラフを見ると、全産業とは違った業種に応じた特徴が表れている場合もありますので、必要に応じてご参考にしてください。

社会福祉施設の労働災害の傾向・特徴

☑ 右肩上がり！！



☑ 社会福祉施設で多い労働災害の種類はこれ！！

● 転倒



● 腰痛

安全衛生活動

{ KY活動
指差呼称
ヒヤリハット など

ルール遵守

{ 法令
社内ルール
業界ルール など

マナー、エチケット

安全先取りの職場風土
(人間関係、雰囲気、価値観)

人を大切にする企業風土
(経営基盤)